

# 京都大学シンポジウム シリーズ VIII

## 原発事故の教訓とこれからのエネルギーシナリオを考える

4ヶ月を経過した今日の時点で、さまざまな情報開示、調査などにより、今回の未曾有とも言うべき大震災の全体像がようやく学術的に把握できるようになってきた機会を捉え、特に原子力とエネルギーに関する解説、講演を行う。

主催：京都大学 GCOE「地球温暖化時代のエネルギー科学拠点--CO2ゼロエミッションをめざして」

日時：平成23年7月29日(金) 13:30-17:00

場所：京都大学芝蘭会館稲盛ホール

1) 東電福島原発事故の経過、原因、教訓 -スリーマイル島及びチェルノブイリ事故との関連-  
京都大学大学院工学研究科教授 杉本 純

2) 環境中での放射性物質の動態と線量評価  
京都大学原子炉実験所教授 高橋千太郎

3) 放射線の人体影響と防護：チェルノブイリの教訓をフクシマへ  
京都大学放射線生物研究センター長 松本智裕

4) 将来のエネルギーシナリオ：脱原発は可能か  
京都大学大学院エネルギー科学研究科教授 石原慶一

[http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/gcoe/symposium/SympoVIII\\_GCOE\\_1.html](http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/gcoe/symposium/SympoVIII_GCOE_1.html)